

# 緊迫するベネズエラ

—いま何が起きているのか—



ウゴ・チャベス死去のあとを継いだニコラス・マドゥロ政権のベネズエラは、原油価格下落の影響も受け、この数年間に政治的・経済的・社会的に未曾有の危機を深めてきました。米国はトランプ政権発足とともに経済制裁を発動し、ベネズエラ右派の街頭での不安定化攻勢とこれへの政府の弾圧が繰り返されるなかで、昨年年末コロンビア、ブラジルなど周辺諸国も巻き込んで、「市民クーデター」のシナリオを作り上げました。

1月22日ペンス副大統領のビデオメッセージが号令となり、翌日グアイド国会議長が「暫定大統領」を自ら名乗り、即時米国が承認するという筋書きです。トランプは軍事介入を示唆していますが、中東のイラクなどで見てきた石油をめぐる戦争がラテンアメリカで繰り返される危険性が高まっています。これはベネズエラ民衆にとって悪夢となるでしょう。

米国の軍事介入に反対し、ベネズエラ民衆の主権のもと、対話による平和的な解決が求められています。ベネズエラの問題をどう見るか、討論の集まりへの参加をお願いします。

**2月24日(日) 午後2時～午後4時30分**

**京都教育文化センター202号室**

(京阪神宮丸太町駅5番出口)

報告 一井不二夫

(ブログ「ラテンアメリカの政治経済」)

参加費 500円

主催 ブログ「ラテンアメリカの政治経済」

連絡先 (090-1952-9886)

